



発表する当社社員

## 日本気象学会で突風に関する研究発表

5月18日～21日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「日本気象学会2016年度春季大会」において、明星電気は突風に関する研究発表を行いました。「POTEKAにより観測された2015年6月15日のダウンバーストによる突風気象事象」「観測データを利用した突風予測手法の開発」の2件のプレゼンテーションを行い、参加者から高い関心をいただきました。

明星電気は今年3月に気象予報業務の許可を取得していますが、さらに今回の研究成果を発展させた「突風短時間予報」の実現を目指しています。

突風や竜巻の発生をいち早く予測し、その被害から安全な暮らしを守るために、明星電気はこの分野の研究開発を一層進めていきます。

(担当: 気象・管制事業部)



展示ブース

## 岩崎トータルソリューションフェアに出展

4月14、15日に札幌コンベンションセンターで開催された「第49回岩崎トータルソリューションフェア2016」に気象・防災製品を出展しました。

今回のフェアはビジネスパートナーである株式会社岩崎様により、「インフラマネジメントにおける最先端技術の集結 ～創造し続ける建設業界を目指して～」をテーマとして開催されました。国土交通省が推進するICT化に向けた新基準の取り組み「i-コンストラクション」関連企業約80社が出展し、2,700人以上のお客様が来場されました。

当社ブースでは、超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA」、緊急地震速報受信ユニットS740、地震火山総合観測システムなどを展示し、北海道開発局など多くのお客様にご来訪いただきました。

北海道特有の自然災害にも備えるべく、明星電気は最適な気象防災システムのご提供を通じ社会の安全に貢献していきます。

(担当: 防災事業部、気象・管制事業部、北海道支店)



制御用地震計S401-PSC

## 震災復旧工事の安全確保への取り組み

4月に発生した熊本地震では最大震度7が観測され、大きな被害が発生しました。この地震により被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

現地では大きな余震が頻発しており、復旧作業に携わる作業員の安全確保のために、制御用地震計S401-PSCが採用されています。ポータブルケースに収納された状態で各作業現場に配置され、設定されたリアルタイム震度以上を感知すると(\*)、警告灯や警報音で地震発生を知らせ、作業員に迅速な避難を促すしくみになっています。

明星電気の製品が住民の皆さまはじめ、復旧作業に従事している方々の安全・安心に貢献できるよう、今後も協力していきます。

※リアルタイム震度演算方式: 特許4229337 独立行政法人防災科学技術研究所

(担当: 防災事業部)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。